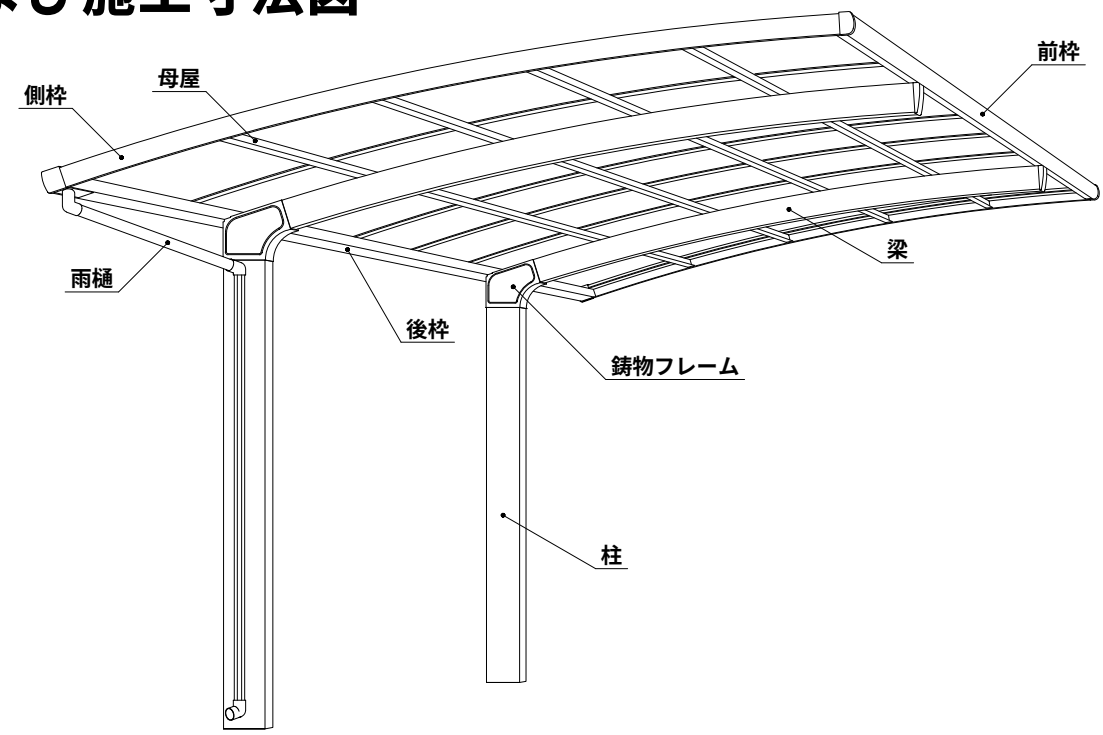
取扱説明書

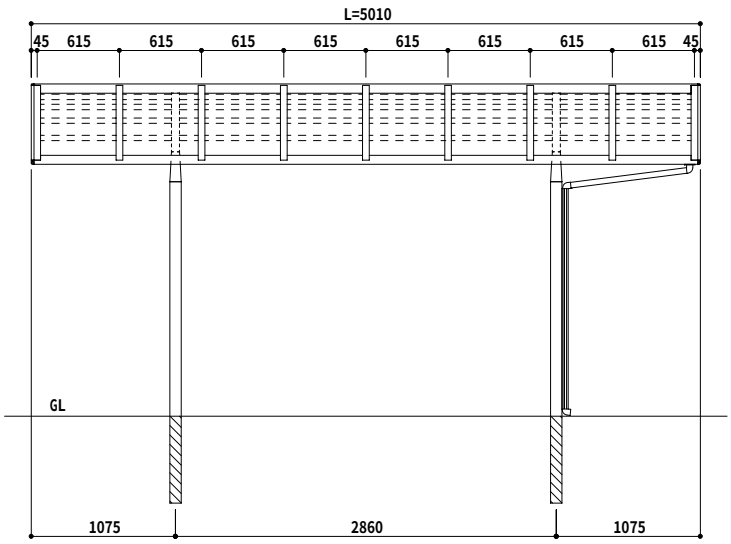
KANEHIDE

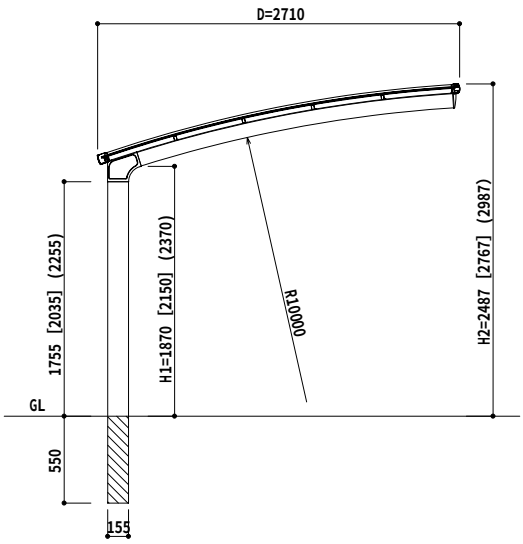
金秀カーポート
ティーダポート F 5027

このたびは、金秀アルミの「金秀カーポート」をお買い上げいただきありがとうございます。本説明書をよくお読みいただき、正しく安全に施工して下さいますよう宜しくお願い致します。

①姿図および施工寸法図







・ロング柱は＋500㎜となり、(　)寸法となります。
・セミロング柱は＋280㎜となり、［　］寸法となります。

②梱包組合せ表
ティーダポートＦ　5027

①組み合わせ表

セット記号				F(　)5027 標準柱	F(　)5027SL セミロング柱	F(　)5027L ロング柱
部材名称		数　量	品　種			
柱部材	標準柱	2本入り	2FH(　)23	1		
柱部材	セミロング柱	2本入り	2FH(　)26		1	
柱部材	ロング柱	2本入り	2FH(　)28			1
間口部材	梁・側枠 垂木・ポリカ押え	D=27用	FD(　)27	1	1	1
奥行部材		D=27用	FW27(　)50	1	1	1
部品セット		D=27用	FBS27(　K　)	1	1	1
ポリカーボネート板		4枚入り	4FP27(　W　)	2	2	2

●3本柱用

柱部材	標準柱	1本入り	1FH(　)23	1		
柱部材	セミロング柱	1本入り	1FH(　)26		1	
柱部材	ロング柱	1本入り	1FH(　)28			1
間口	梁	1本入り	1FDA(　)27	1	1	1
部品セット		D=27用	FBS27C(　K　)	1	1	1

②梱包明細表

品　種		品　名	数　量
柱部材	2FH(　)23	標準柱	2本(L=2305)
柱部材	2FH(　)26	セミロング柱	2本(L=2584.5)
柱部材	2FH(　)28	ロング柱	2本(L=2805)
間口部材	FD(　)27	梁・側枠・垂木・ポリカ押え	梁(2本)・側枠(2本)・垂木(7本)・ﾎﾟﾘｶ押え(9本)
奥行部材	FW27(　)50	前枠・後枠(ポリカ受け)・母屋・雨樋	前枠(1本)・後枠(1本)・母屋(4本)・雨樋(丸形1本・八角形1本)
部品セット	FBS27(　K　)	コーナーキャップ	前枠キャップ 左1/右1(2個)・後枠キャップ 左1/右1(2個)
		梁キャップ	2個
		後枠取付金具セット	後枠取付金具(2個)・M4×10トラス(4本)・平座金(4枚)
		アンカー棒	2本
		前枠・母屋・後枠取付けネジ	φ4×13鍋テクス(24本)
		垂木・側枠取付けネジ	φ4×25皿テクス(54本)
		六角ボルトセット	M10×25(16本)・平座金(16枚)・バネ座金(16枚)
		ポリカ押え取付けネジ(止水ワッシャー付)	M4×10トラス(99本)
		グレージングビード	L=4800
		シリコンシーリング材	1本
		取扱説明書	2部
		鋳物フレーム	2本
		雨樋部品セット	パッキン(2枚)・メクラ板(1枚)・アタッチメント(1個)・丸エルボ(3個) φ4×20鍋テクス(4本)・M4×8鍋ビス(3本)・φ4×13鍋テクス(4本)

●3本柱用

部品セット	FBS27C(　K　)	梁キャップ	1個
		後枠取付金具セット	後枠取付金具(1個)・M4×10トラス(2本)・平座金(2枚)
		アンカー棒	1本
		前枠・母屋・後枠取付けネジ	φ4×13鍋テクス(12本)
		六角ボルトセット	M10×25(8本)・平座金(8枚)・バネ座金(8枚)
		鋳物フレーム	1本

※記号中の(　)には、色記号が入ります。
※色記号は ＳＣ:ステンカラー、ＳＢ:スーパーブロンズ、Ｋ:ブラック になります。
※ポリカーボネート板の色調は W:ブルースモーク となります。

③お客様へのお願い

(1)本製品は一般地域向け(積雪荷重600Ｎ/㎡対応)の製品です。積雪が20㎝を越える前に、必ず雪下ろしを行って下さい。

(2)多雪地域での取り付けは避けて下さい。

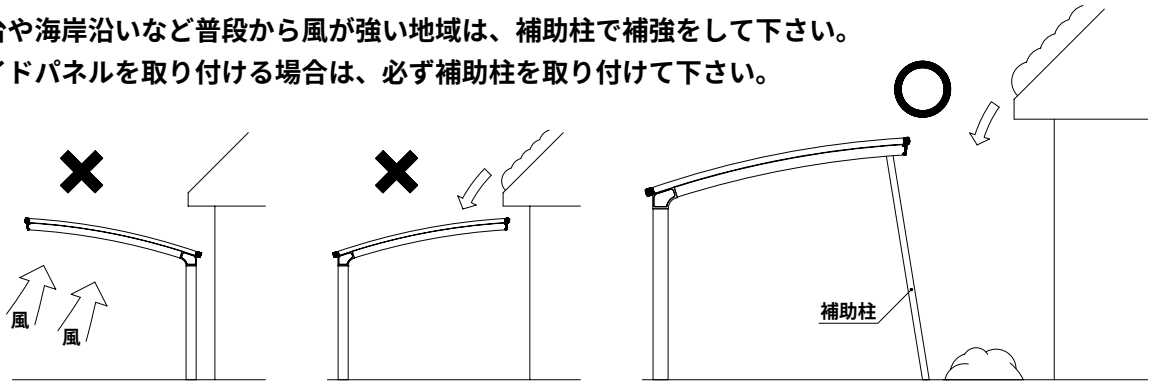
(3)屋根からの落雪を避けるために、建物から間隔を取って施工して下さい。

(4)強風時に本製品があおられるのを避けるために、建物側に前枠側を向けて施工して下さい。

(5)有償付属品の補助柱をご使用になると強度が一層増します。積雪時や強風時にはご使用することをお勧めします。

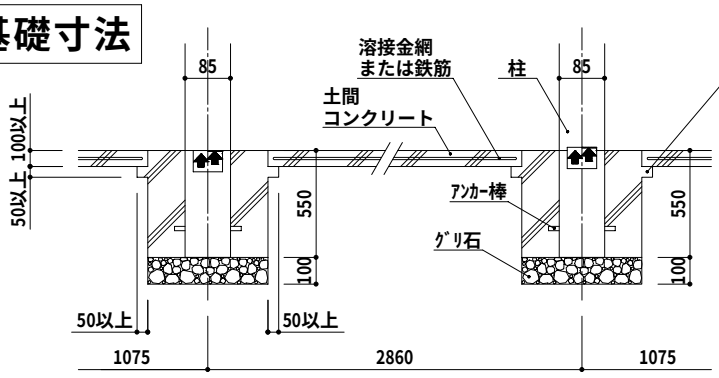
(6)高台や海岸沿いなど普段から風が強い地域は、補助柱で補強をして下さい。

(7)サイドパネルを取り付ける場合は、必ず補助柱を取り付けて下さい。

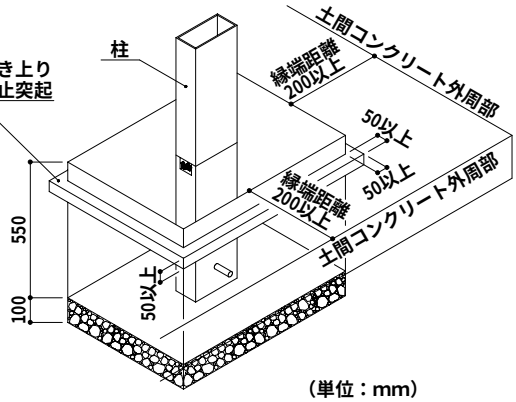


④施工手順

1.基礎寸法



(図1)



(図2)

●本製品の設置場所が決まりましたら、図1～3を参照のうえ施工作業を行って下さい。

(1)基礎の大きさは、必ず規定寸法以上にして下さい。

(2)上記の基礎参考図は、長期地耐力50kＮ/㎡の場合の基礎サイズ設定になっております。

(3)所定の寸法に穴を掘った後、必ずグリ石を敷き詰め十分に突き固めて下さい。

(4)雨樋の取り付け場所(柱)を決め、図3の基準線シールに従って柱の埋め込みレベルを決めて下さい。

(5)コンクリート土間がある場合とない場合では、基礎の大きさが異なりますのでご注意下さい。

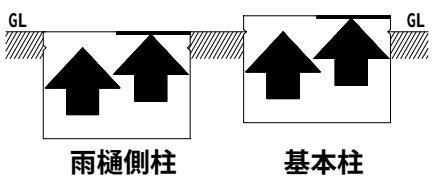
(6)コンクリート土間がある場合の基礎形状は、下記の施工条件の場合のみ適用可能です。

・土間コンクリートの厚さが100mm以上あること。

・土間コンクリートには、鉄筋や溶接金網が配置されていること。

・浮き上がり防止の突起部の寸法は、50mm×50mm以上あること。

・基礎の縁端部から土間コンクリート外周部までの最少距離(縁端距離)は、200mm以上あること。



(図3)

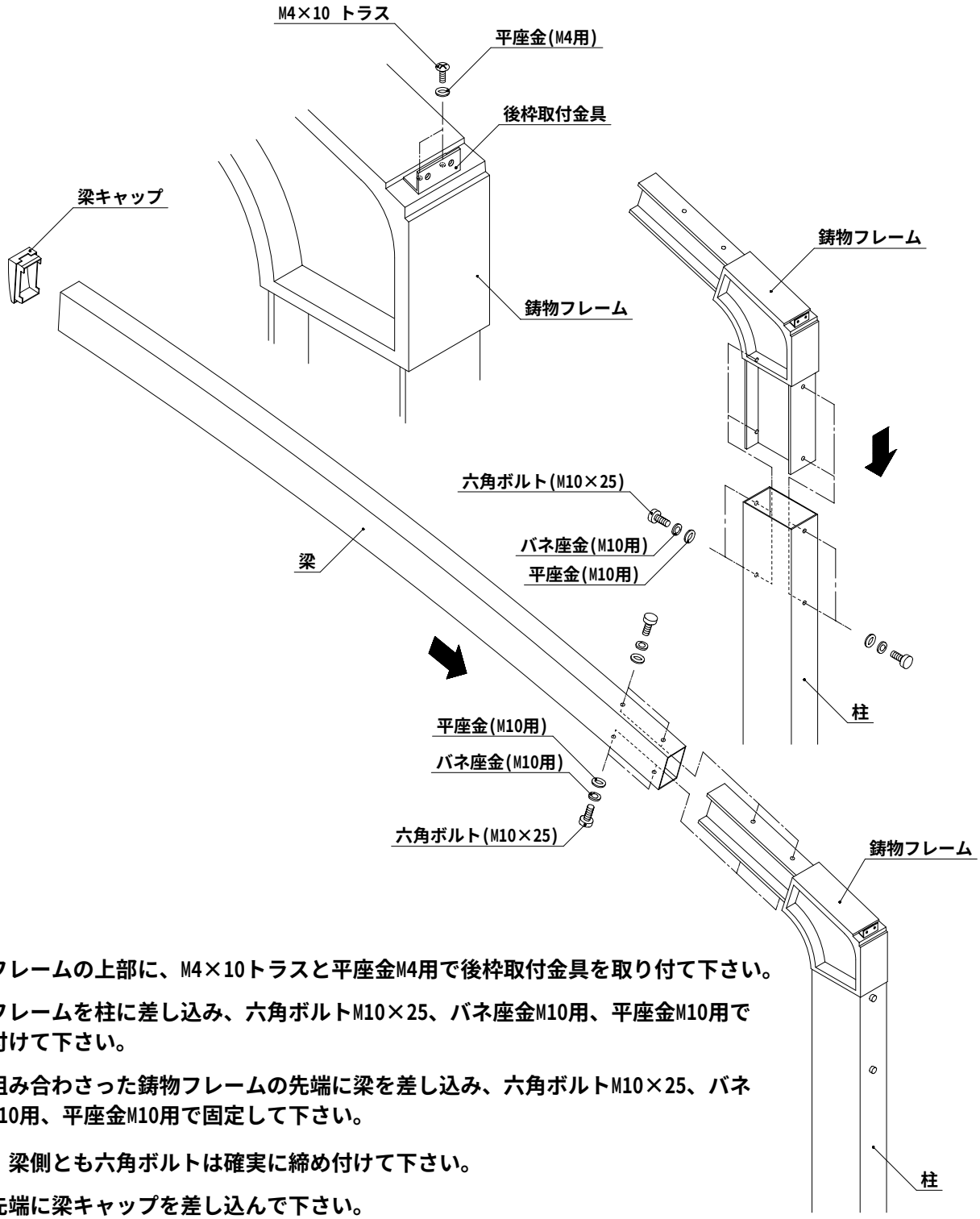
(7)GLよりはみ出したシール部分は、埋め込み後切り取って下さい。

(8)コンクリート施工は骨組み完了後に行い、屋根パネルは硬化後に取り付けて下さい。

施工時の注意

- **コンクリートおよびモルタルには、絶対に急結材を使用しないで下さい。**
- **海砂は塩分が含まれてるため、使用しないで下さい。やむなく使用する場合は、十分に水洗いをしたものをご使用下さい。**
- **コンクリートを打設後、十分な養生期間を取って下さい。**

2.柱と梁の組み立て



(1)鋳物フレームの上部に、M4×10トラスと平座金M4用で後枠取付金具を取り付て下さい。

(2)鋳物フレームを柱に差し込み、六角ボルトM10×25、バネ座金M10用、平座金M10用で取り付けて下さい。

(3)柱と組み合わさった鋳物フレームの先端に梁を差し込み、六角ボルトM10×25、バネ座金M10用、平座金M10用で固定して下さい。

(4)柱側、梁側とも六角ボルトは確実に締め付けて下さい。

(5)梁の先端に梁キャップを差し込んで下さい。

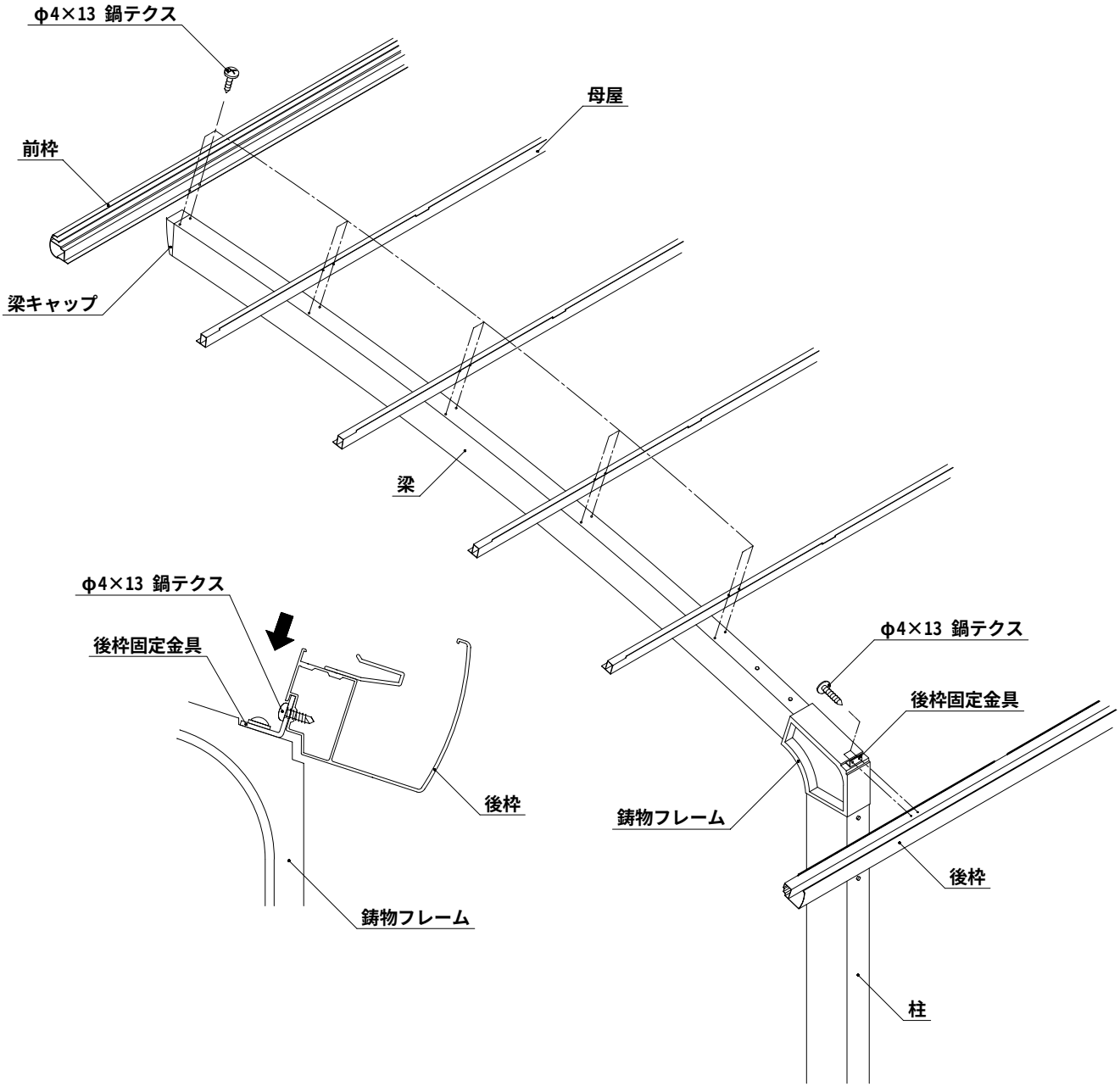
(6)梁キャップは前枠と一緒にビス止めをします。

3.前枠・母屋・後枠の取り付け

(1)鋳物フレームに取り付けた後枠固定金具に後枠を差し込み、φ4×13鍋テクスで固定して下さい。

(2)前枠を梁の先端部にφ4×13鍋テクスで取り付けて下さい。この時、梁キャップも固定されます。

(3)母屋(4本)を梁にφ4×13鍋テクスで取り付けて下さい。



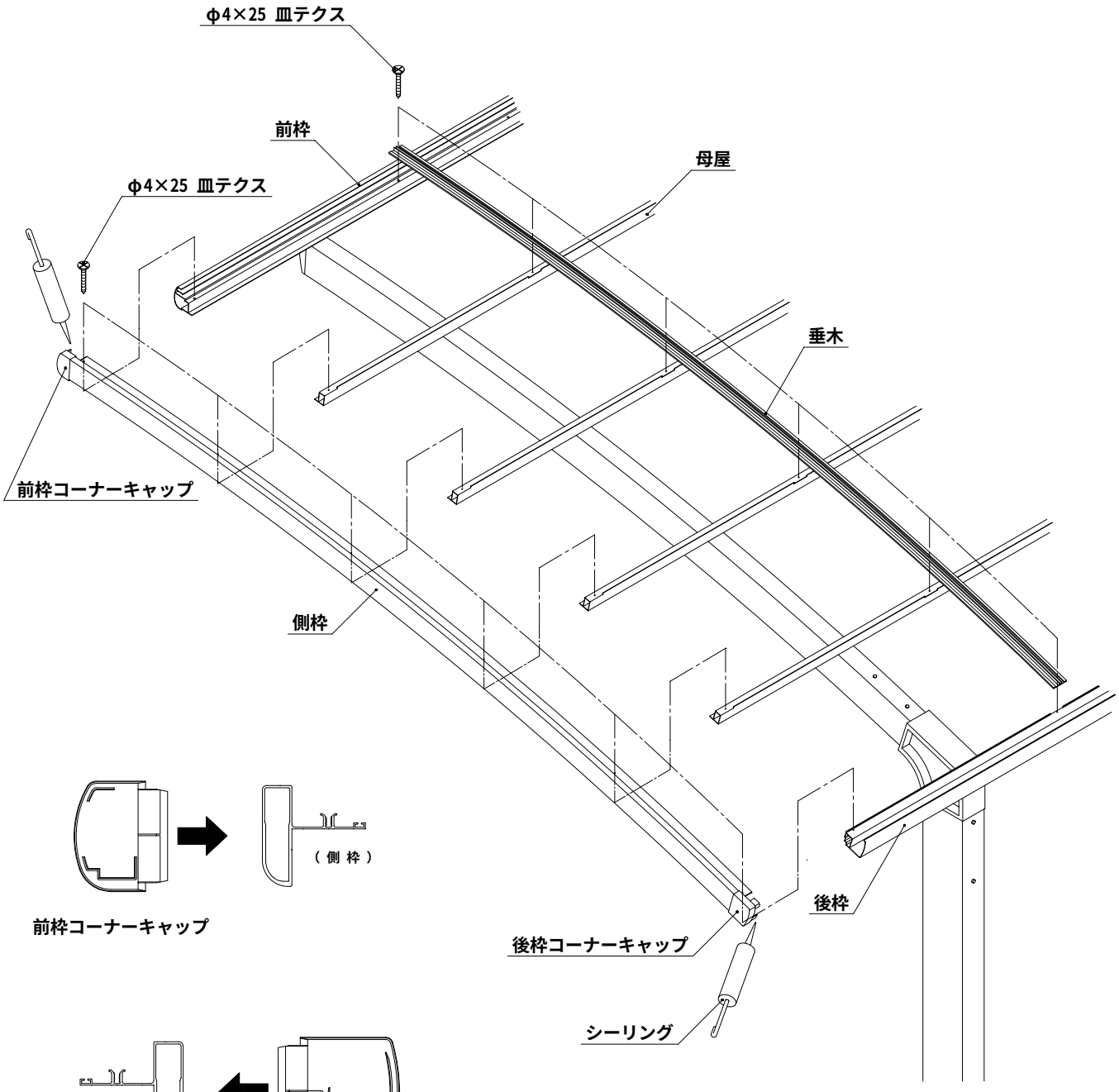
4.側枠・垂木の取り付け

(1)側枠の両端にコーナーキャップ(前枠用・後枠用)を取り付けて下さい。

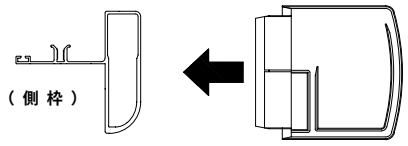
(2)側枠に取り付けたコーナーキャップを前枠と後枠にそれぞれ差し込んで下さい。その時、コーナーキャップのジョイント部には、コーキングを充分に施して下さい。

(3)側枠を前枠、母屋および後枠にφ4×25皿テクスで取り付けて下さい。

(4)(3)と同様に垂木を前枠、母屋および後枠にφ4×25皿テクスで取り付けて下さい。



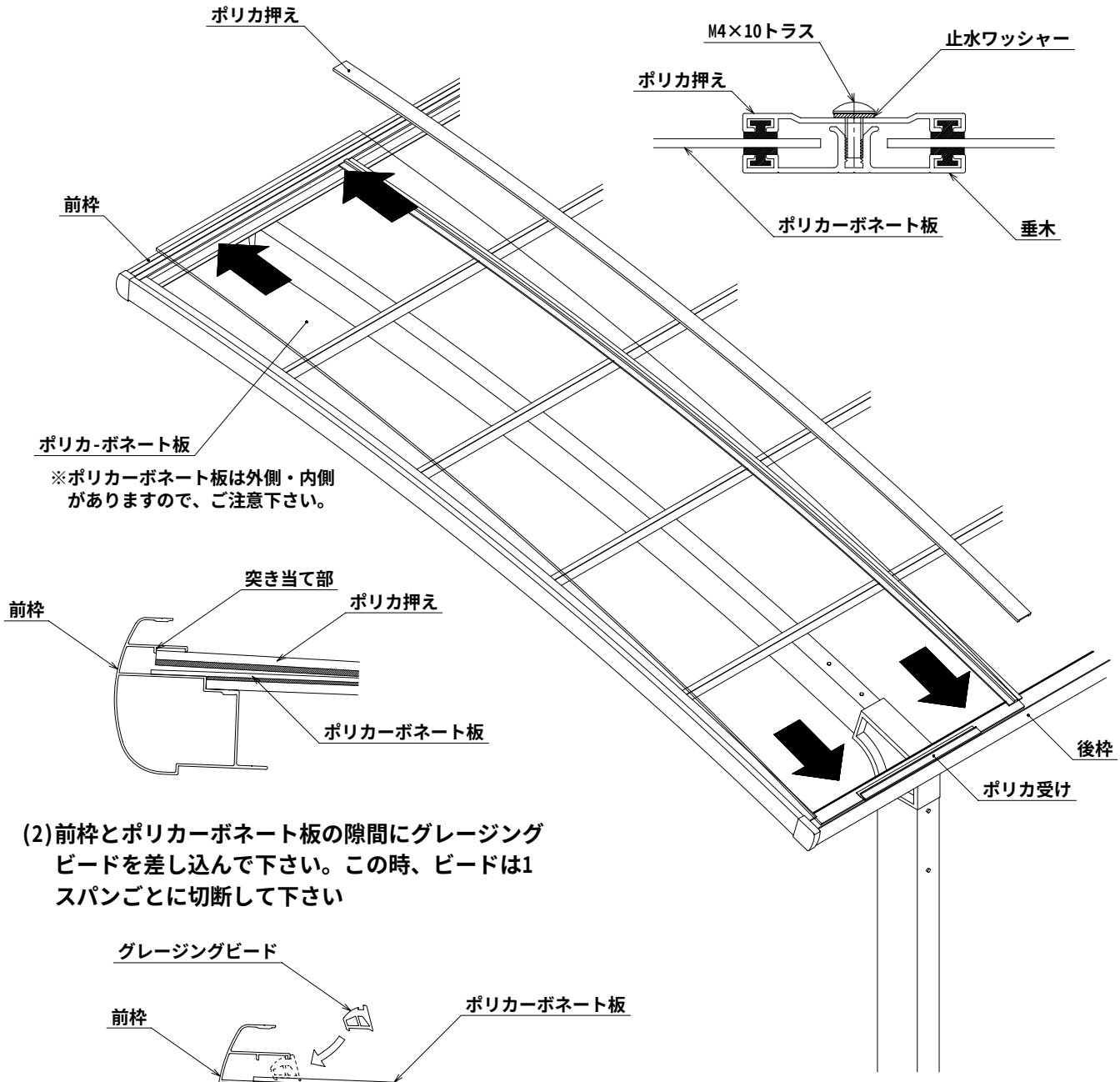
前枠コーナーキャップ



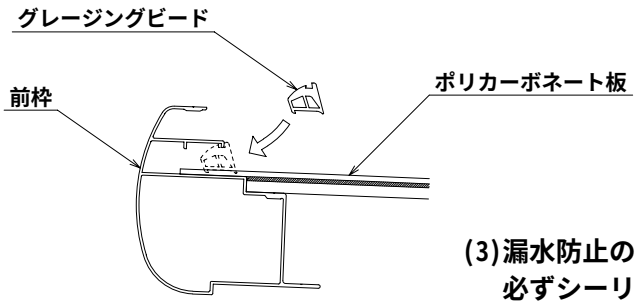
後枠コーナーキャップ

5.屋根材の取り付け

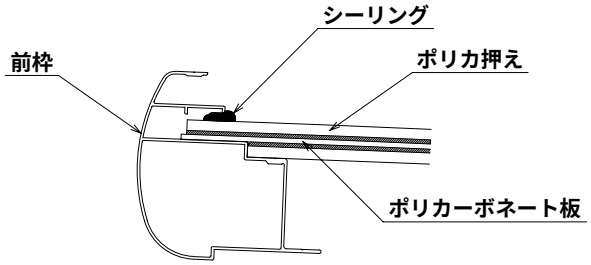
(1)ポリカーボネート板が左右均等になっているか確認後、後枠についているポリカ受けに差し込みます。その後、M4×10トラス(止水ワッシャー付)を使いポリカ押えで上から固定します。ポリカ押えは、前枠の突き当て部に当てる様にしてから固定して下さい。



(2)前枠とポリカーボネート板の隙間にグレージングビードを差し込んで下さい。この時、ビードは1スパンごとに切断して下さい

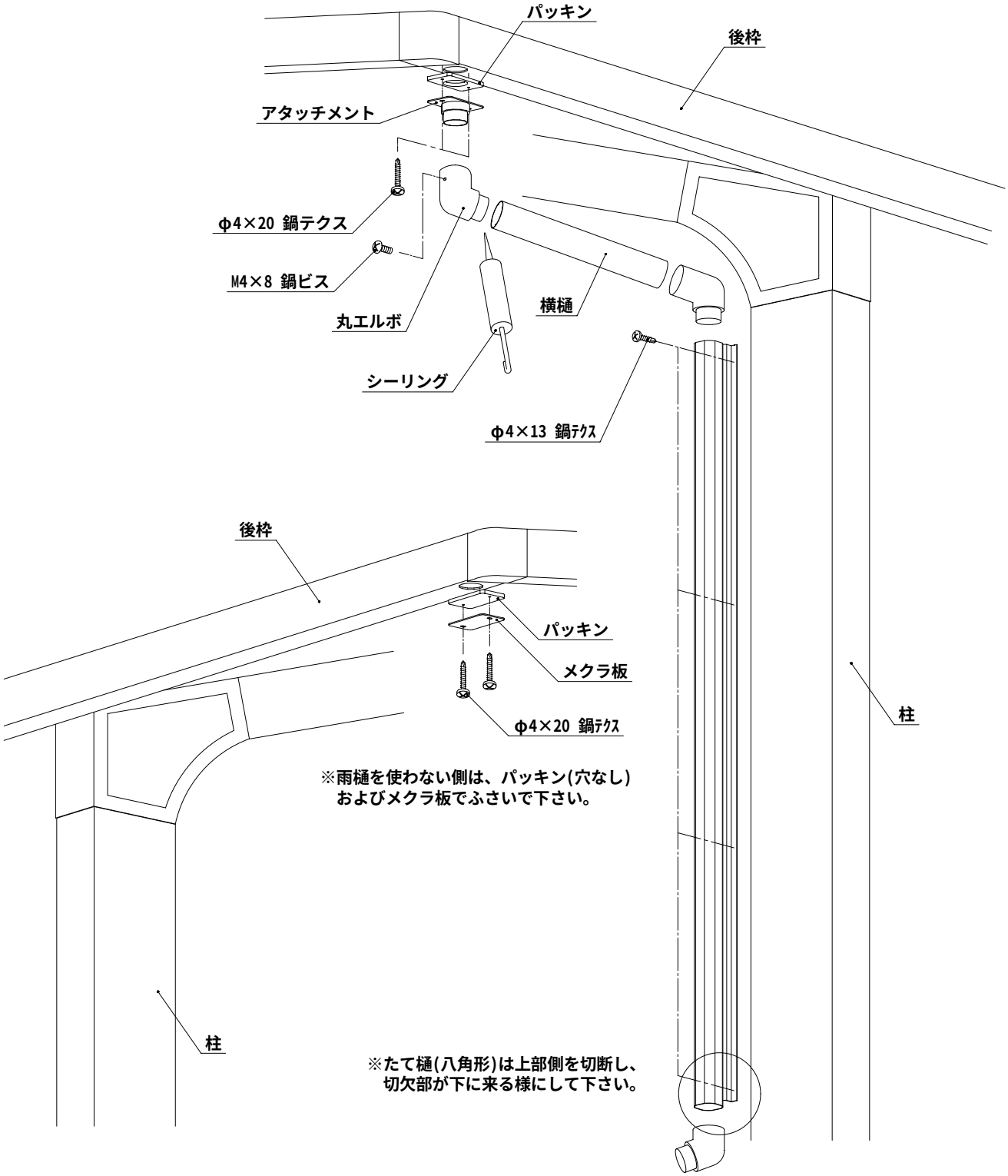


(3)漏水防止のため、ポリカ押えと前枠ジョイント部には必ずシーリングを施して下さい。



6.雨樋の取り付け

(1)下図を参照の上、雨樋セットを取り付け下さい。たて樋(八角形)および横樋(丸形)は現場での切断となります。また、樋と丸エルボの各ジョイント部にはシーリングを施して下さい。



KANEHIDE

製造元
金秀アルミ工業株式会社
沖縄県中頭郡西原町字掛保久217番地

お問合せは

●改良のため、製品仕様を予告なしに変更する場合がございます。